

桜島の噴火警戒レベルを3へ引下げ

本日（27日）20時00分に桜島の噴火警戒レベルを3（入山規制）に引き下げました。桜島の南岳山頂火口及び昭和火口から2kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなりました。

桜島の南岳山頂火口では、7月24日20時05分に爆発が発生し、大きな噴石が火口から2.4kmを超えて飛散したため、同日20時50分に噴火警戒レベルを5（避難）に引き上げました。その後は、噴火や爆発は時々発生していますが、火口から2kmを超えて大きな噴石が飛散する噴火は発生していません。桜島島内に設置している傾斜計及び伸縮計で、7月18日09時頃から観測されていた山体膨張は20日15時以降概ね停滞しています。

このことから、桜島では南岳山頂火口及び昭和火口から2kmを超える範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、本日（27日）20時00分に噴火警報を発表して、桜島の噴火警戒レベルを5（避難）から3（入山規制）に引き下げました。

しかしながら、現在も噴火活動が継続していることから、南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。

爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

※詳細については、気象庁HPをご確認ください。

気象庁ホームページ

ホーム > 火山登山者向けの情報提供ページ > 火山活動の状況

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/506.html

問合せ先：福岡管区気象台 気象防災部 地域火山監視・警報センター
電話：092-725-3606